

事務事業名	日本一さくらのまちづくり事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課	
総 計 画 体 系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	観光振興グループ	
	施策名	<36>観光の振興		課長名	高橋 司	
	目的: 対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2432
	基本事業名	<105>観光資源の充実		担当者名	中西 亮	
目的: 対象	観光客	意図	魅力ある観光商品を購入・消費する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1 3:5 0:1 観光振興総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 0:5 1:5 0:3 日本一さくらのまちづくり事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	日本さくら名所100選「斐伊川堤防桜並木」を有し、市の花が桜である雲南市において、市内各地の桜は、かけがえのない共有の財産であるとともに、重要な観光資源である。市民が桜を愛し、桜の植栽・保育を通じて活力あるまちづくりを目指すべく、桜守(桜の管理をおこなう専門職)の配置等をおこなう。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動)	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動)				
	①桜守公用軽トラック保守管理 ②さくらまつりPR(ポスター及びチラシ作成等) ③桜に関する問合せ対応 ④桜保育管理(外部委託)	①桜守公用軽トラック保守管理 ②さくらまつりPR(ポスター及びチラシ作成等) ③桜に関する問合せ、視察受入対応 ④桜保育管理(外部委託) ⑤雲南市さくらのまち観光振興協議会との連携				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 桜植栽本数	本	15	15	15	15
	イ 視察研修会への参加回数	回	2	2	1	1
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市の景観 観光客	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 桜本数	本	109,145	109,160	109,175	109,190
			イ 日本の人口	千人	126,443	126,167	125,708	124,836
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	雲南市の花である「桜」の保護育成活動により美しい景観を守り、創造する。	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 桜本数	本	109,145	109,160	109,175	109,190
			イ 観光入込客数	千人	1,298	1,457	986	1,035
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【需用費】 565千円 管理資材、燃料費、印刷費等 【役務費】 69千円 郵送料、共済掛金等 【管理業務委託料】 11,000千円	事業費	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費内訳	地方債	千円			
		その他	千円			11,634
		一般財源	千円	791	771	11,634
		事業費計(A)	千円	791	771	11,634
【財源:木次さくらのまちづくり基金繰入金】	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2
		延べ業務時間	時間	500	100	750
		人件費計(B)	千円	2,166	424	3,156
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,957	1,195	14,790

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
斐伊川堤防桜並木は、雲南市の春の一大観光地となっている。SNSの広がりなどとともに、そのすばらしさがたくさんの人に知られつつある。特に、尾道松江線の全線開通により広島方面、四国方面からの観光客が増えた。さらなるプロモーションを展開することで認知度向上、交流人口の増加が期待される。	令和2年度から雲南市さくらの会で担っていた桜の管理業務を市役所観光振興課が引き継ぎ、委託先と市が直接契約を結ぶこととなった。	桜の花が咲いている時期だけではなく、さくら守によって年間を通じて手入れされていること、桜染めなどの桜関連の新商品開発が進んでいることなどをPRして、桜ファンの増加に努めるよう求める声が多く聞かれる。斐伊川堤防桜並木だけでなく、河津桜や御衣黄なども力を入れてPRする必要があるという意見もある。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	<b>① 政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	<b>② 公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    *余地がある場合⇒	
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    *余地がある場合⇒	
B 有効性	<b>④ 成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	斐伊川堤防桜並木の他にも大東町の河津桜、三刀屋町の御衣黄など市内には様々な桜が生育している。そのような観光資源を打ち出していくことでより観光客の注目を集めることができる。
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	市の観光事業として桜まつりが最も集客力のあるイベントとなっているが、年間を通しての桜保育管理事業があつてこそ、すばらしい桜が咲いてくれるため、廃止・休止の影響は計り知れない。
	<b>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    *ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる    (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	他に類似事業がないため、統廃合・連携等は困難である。
C 効率性	<b>⑦ 事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	より良いプロモーション展開のためにも、これ以上の削減は難しい。
	<b>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	年間を通じて問合せに応じており、大幅な業務時間の削減は困難である。
D 公平性	<b>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	合併以来、対象地域は全市としているが、合併前から桜によるまちづくりを進めてきた経過から木次町や三刀屋町への受益機会が多い。
評価 の 総 括	<b>① 1次評価者としての評価結果</b> A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<b>② 1次評価結果の総括(根拠と理由)</b> 雲南市全域へ桜のまちづくりを浸透させていくために、特に財源の面で課題も多く、検討が必要である。

### 3 今後の方向性【PLAN】

<b>① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<b>② 改革・改善による期待成果</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
雲南市全域に桜のまちづくりを浸透させるため、対象を市民、市外というように的を絞ってプロモーション展開をしていく必要がある。しかし、他業務との兼務の中で、十分に戦略を練る余裕が無く、業務改善につながらない点が課題である。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																				